

**東大病院リカバリーセンターを過去にご利用された皆様へ**

**研究課題「リカバリーセンター通所者における精神疾患の  
リカバリープロセスの研究」**

**における通所時のカルテ情報利用のお知らせとお願い**

東京大学医学部附属病院精神神経科では、リカバリーセンターで実施されているリカバリープログラムに参加された方の心理検査、参加の様子や面接で得られた情報に加え、リカバリープログラム終了後の生活状況や心理状態などを経時的に調査し、その関連を明らかにすることで、精神疾患を有する方のリカバリープロセスの傾向や特性を明らかにし、よりよいリカバリー支援のあり方を探る研究を行っております。つきましては、過去にリカバリーセンターに通所された方に、通所時のカルテ情報を研究に利用することをご許可いただきますようお願いいたします。

**【研究課題】**

リカバリーセンター通所者における精神疾患のリカバリープロセスの研究

研究機関：東京大学医学部附属病院精神神経科

研究責任者：精神神経科・助教 榊原英輔

担当業務：研究計画・データ収集と解析

**【研究期間】**

2018年12月3日（研究承認日）～2023年10月01日まで

**【対象となる方】**

2016年6月1日～2018年12月3日の間に当院精神神経科リカバリーセンターに通所したことがある方。

**【協力をお願いする内容】**

本研究に別途書面での同意をいただいた方は、予後調査としてアンケートへのご協力をお願いしますが、本お知らせに基づいて行うのは、カルテに記録されている臨床情報、臨床指標を収集し、データ解析に組み入れることのみですので、特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

**【研究協力の任意性と撤回の自由】**

この研究にご同意いただくかどうかは、研究参加者の皆様の自由意思に委ねられています。リカバリーセンターに通所されたことのある方で、本研究にカルテ情報を利用さ

れたくない方がいらっしゃいましたら、下記連絡先にご一報ください。研究開始日の2019年2月28日までに撤回のご連絡がなかった方については、ご同意いただけましたものとして進めますが、研究期間中にご本人の申し出があれば、その方のカルテ情報から得られたデータは、お申し出をいただいた日以降に開始されるデータ解析には組み入れないようにいたします。なお、研究にご同意いただけない場合にも、皆様の不利益につながることはありません。

#### 【個人情報の保護】

この研究に関わる成果は、他の関係する方々に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。あなたの人体試料や情報・データは、分析する前に氏名・住所・生年月日などの個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において厳重に保管します。研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会や論文等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。

#### 【その他】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。この研究に関する費用は、文部科学省科学研究補助金新学術領域研究「脳・生活・人生の統合的理解にもとづく思春期からの主体価値発展学」から支出されています。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。ご意見、ご質問等がございましたら、お気軽に下記までお寄せください。

2018年12月

#### 【問い合わせ先】

東京大学医学部附属病院精神神経科

研究責任者：榊原英輔

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-3815-5411（内線34630） FAX：03-5800-6894